



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月24日

上場会社名 KOA株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6999 URL http://www.koanet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花形 忠男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理イニシアティブ (氏名) 深野 香代子 TEL 0265-70-7171
 トップマネジメント
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,759	1.7	845	△19.3	1,093	11.1	791	22.8
27年3月期第1四半期	11,559	5.9	1,047	96.4	984	25.4	644	22.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,429百万円 (182.9%) 27年3月期第1四半期 505百万円 (△63.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	21.57	—
27年3月期第1四半期	17.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	70,647	57,270	80.9	1,558.95
27年3月期	69,972	56,356	80.4	1,534.08

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 57,179百万円 27年3月期 56,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	14.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成27年7月24日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期連結累計期間業績予想および第2四半期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,500	1.9	1,670	△12.7	1,980	△9.2	1,460	△2.3	39.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

平成28年3月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	40,479,724株	27年3月期	40,479,724株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,801,910株	27年3月期	3,801,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	36,677,862株	27年3月期1Q	36,678,402株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、第2四半期の決算発表時（10月）に第3四半期の業績予想を、第3四半期の決算発表時（来年1月）に通期の業績予想を発表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度の世界経済は、米国では雇用情勢の改善を背景に個人消費を中心とした拡大基調が続き、欧州でも堅調な個人消費により緩やかな回復基調が続きました。アジアでは中国において減速基調が続いているものの底堅く推移しており、全体として景気は緩やかに回復してきました。また、我が国経済では円安による企業業績の改善や設備投資の増加がみられるものの、個人消費の回復は依然弱く、全体として景気は横ばいの状況が続きました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、電子化の進行により自動車関連市場が拡大しており、米国を中心に自動車向けが好調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めた結果、前期好調であったアミューズメント向けが減少したものの、米国・アジアの自動車向けに売上を伸ばすことができました。また、為替の円安による効果もあり、当連結会計年度の売上高は11,759百万円（前年同期比200百万円増、1.7%増）となりました。

利益面におきましては、研究開発費等の固定費の増加により営業利益は845百万円（前年同期比201百万円減、19.3%減）となりました。経常利益は為替差益等の増加により1,093百万円（前年同期比108百万円増、11.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は791百万円（前年同期比147百万円増、22.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は70,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ、675百万円増加いたしました。主要な要因としましては、投資有価証券等の増加によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ238百万円減少いたしました。主要な要因としましては、賞与引当金等の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.4%から80.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー668百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△581百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△468百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は17,167百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、米国の景気拡大などにより、全体として景気は緩やかに回復するものの、ギリシャ財政危機による欧州経済の停滞や中国経済の減速懸念等により、世界景気の先行きの不透明感は引き続き高いものと考えられます。

当社グループの属する電子部品業界におきましても、次期の受注動向に対しては慎重な見方が必要であります。利益面においても、原材料価格の上昇、為替変動等の懸念材料があります。

その結果、第2四半期連結累計期間の業績予想を以下の通りといたしました。なお、為替レートは、1米ドル＝120円を想定しております。

(第2四半期連結累計期間業績予想)

売上高	23,500百万円
営業利益	1,670百万円
経常利益	1,980百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,460百万円

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,619	18,364
受取手形及び売掛金	12,279	12,019
有価証券	1,057	1,072
たな卸資産	5,216	5,343
その他	2,156	2,191
流動資産合計	39,329	38,991
固定資産		
有形固定資産	22,519	22,692
無形固定資産	540	539
投資その他の資産	7,582	8,424
固定資産合計	30,642	31,656
資産合計	69,972	70,647
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,181	4,220
短期借入金	161	210
その他	4,704	4,301
流動負債合計	9,047	8,732
固定負債		
退職給付に係る負債	1,739	1,653
その他	2,828	2,990
固定負債合計	4,567	4,644
負債合計	13,615	13,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,012	9,012
利益剰余金	41,267	41,544
自己株式	△2,656	△2,656
株主資本合計	53,656	53,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	1,731
為替換算調整勘定	1,188	1,405
退職給付に係る調整累計額	51	108
その他の包括利益累計額合計	2,609	3,244
非支配株主持分	89	91
純資産合計	56,356	57,270
負債純資産合計	69,972	70,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	11,559	11,759
売上原価	8,134	8,282
売上総利益	3,425	3,477
販売費及び一般管理費	2,378	2,632
営業利益	1,047	845
営業外収益		
受取利息	14	25
受取配当金	15	22
為替差益	-	123
その他	140	180
営業外収益合計	170	351
営業外費用		
支払利息	3	5
為替差損	123	-
その他	106	98
営業外費用合計	233	103
経常利益	984	1,093
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	984	1,093
法人税等	339	301
四半期純利益	644	792
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	644	791

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	644	792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	360
退職給付に係る調整額	23	56
為替換算調整勘定	△352	210
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	10
その他の包括利益合計	△139	637
四半期包括利益	505	1,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	1,425
非支配株主に係る四半期包括利益	1	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	984	1,093
減価償却費	506	539
売上債権の増減額 (△は増加)	△151	316
たな卸資産の増減額 (△は増加)	46	△69
仕入債務の増減額 (△は減少)	567	△55
その他	△249	△595
小計	1,703	1,229
法人税等の支払額	△813	△676
その他	87	116
営業活動によるキャッシュ・フロー	977	668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△508	△498
その他	△181	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△689	△581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	98	48
配当金の支払額	△402	△513
その他	△8	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312	△468
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	324
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	52	△56
現金及び現金同等物の期首残高	14,848	17,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,900	17,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。